SDGs未来都市
埼 玉 県



埼玉県大気環境課
マスコットキャラクター
「アトモスベア」

埼玉県VOCサポート事業の紹介

埼玉県　大気環境課　企画・監視担当

講演の内容

VOC対策が必要な理由

VOC対策サポート事業の内容

事例紹介



埼玉県大気環境課
マスコットキャラクター
「アトモスベア」

講演の内容

VOC対策が必要な理由

VOC対策サポート事業の内容

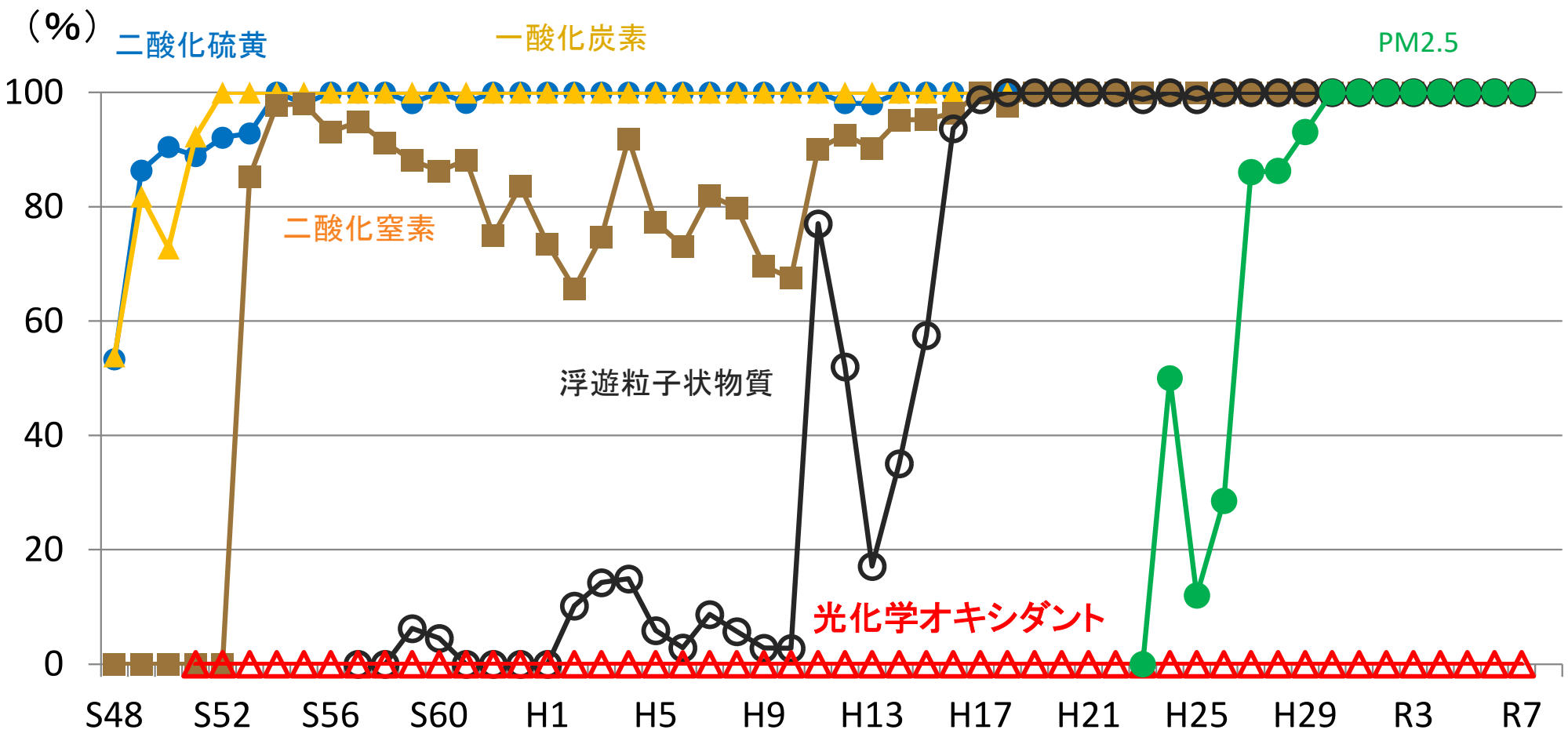
事例紹介



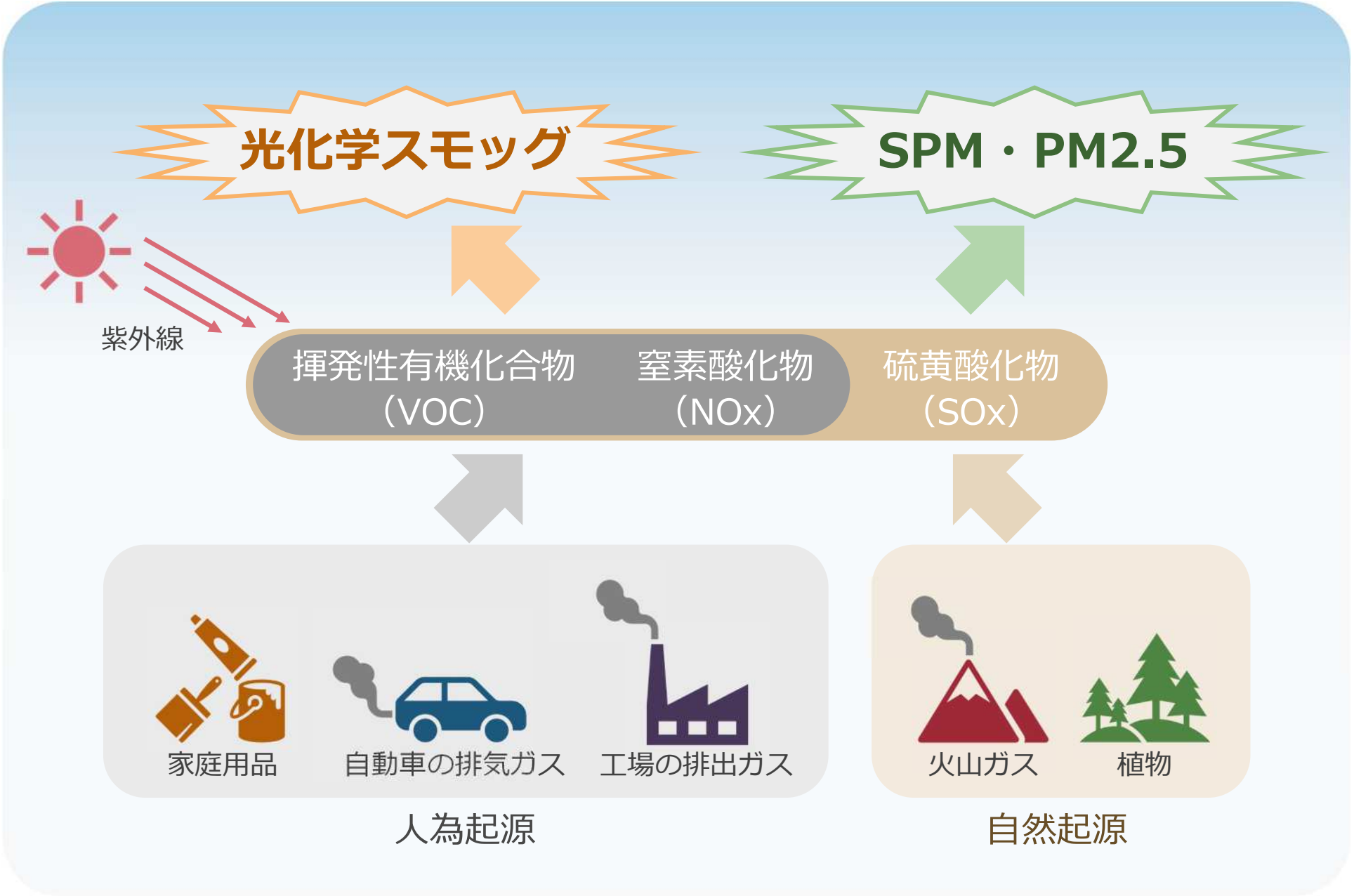
埼玉県大気環境課
マスコットキャラクター
「アトモスベア」

VOCの対策が必要な理由

環境基準達成率の推移（Ｓ４８～Ｒ７）



VOC排出による大気への影響



光化学スモッグ

光化学オキシダントが高濃度になり、もやがかかったような状態になること。

光化学スモッグの様子



平成15年9月3日
（スモッグが発生した様子）



平成15年9月4日
（通常の空の様子）

環境省HP「揮発性有機化合物（VOC)の排出抑制制度について」（パンフレット）より

光化学スモッグについて

埼玉県は、**光化学スモッグ注意報発令日数**が

全国上位

令和３年～令和７年の都道府県別光化学スモッグ注意報発令日数

R3			R4			R5			R6			R7		
順位	都道府県名	日数	順位	都道府県名	日数	順位	都道府県名	日数	順位	都道府県名	日数	順位	都道府県名	日数
1	東京都	6	1	埼玉県	8	1	埼玉県	7	1	東京都	15	1	千葉県	10
1	神奈川県	6	2	東京都	7	2	千葉県	6	1	千葉県	15	2	東京都	8
3	千葉県	4	2	千葉県	7	3	東京都	4	3	埼玉県	14	3	埼玉県	7
4	山梨県	3	4	神奈川県	4	3	群馬県	4	4	神奈川県	12	4	神奈川県	4
5	埼玉県	2	4	群馬県	4	3	大阪府	4	5	岡山県	5	4	岡山県	4
5	静岡県	2				3	岡山県	4						

埼玉県内の光化学スモッグによる健康被害届出件数

平成23年以来
８年ぶり

年	健康被害届出件数（人数）
令和元年	１件（１名）
令和２年	１件（２名）

講演の内容

VOC排出による大気への影響

VOC対策サポート事業の内容

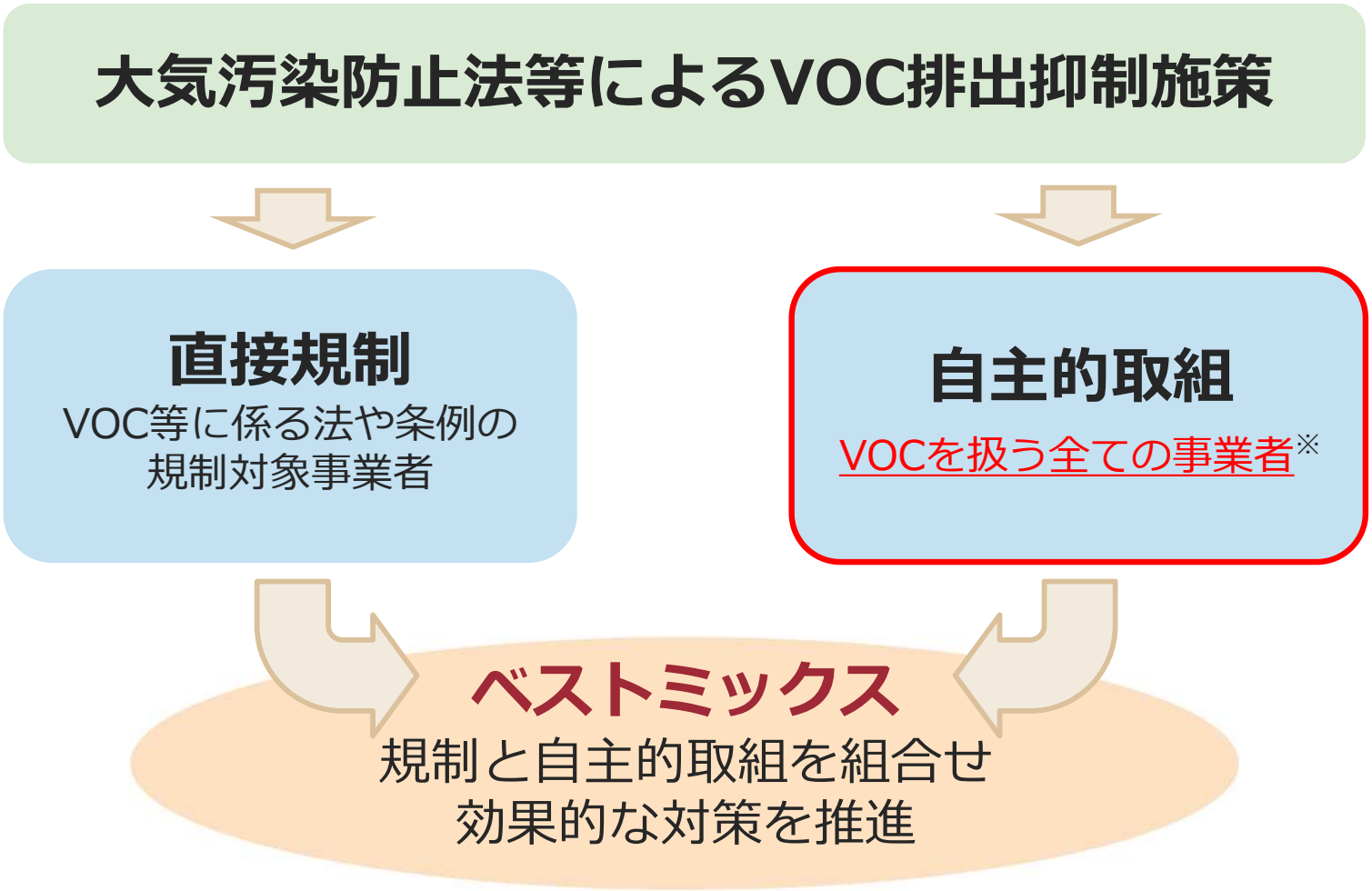
事例紹介



埼玉県大気環境課
マスコットキャラクター
「アトモスベア」

VOC排出削減の自主的取組

大気汚染防止法１７条の３、法１７条の１４



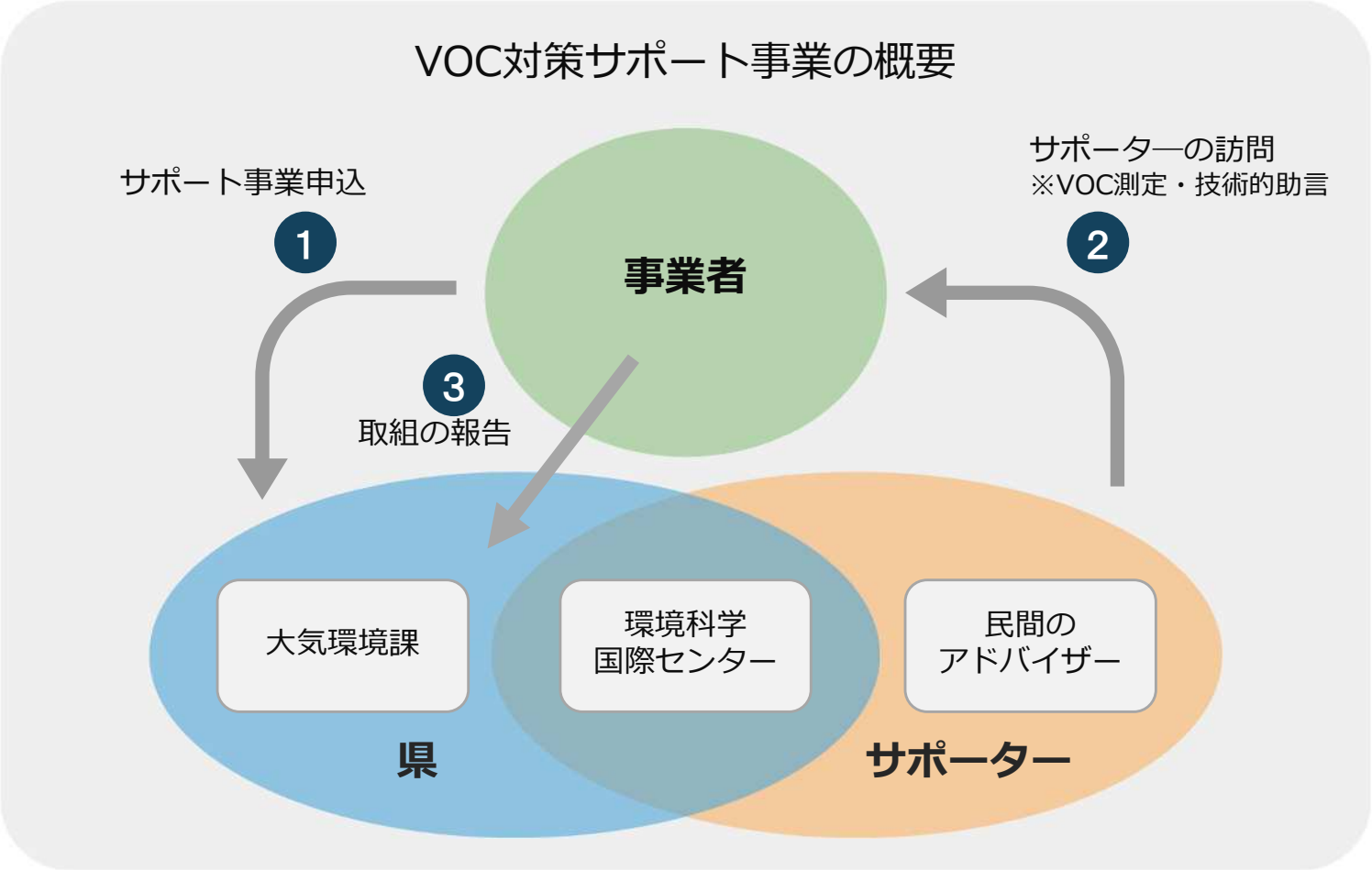
※　規制対象施設の有無に関わらず、自主的な改善は共通

VOC対策サポート事業

【事業内容】　VOC対策に係る技術的支援を行うことを目的に専門家（VOCサポーター）が訪問して、改善に向けた助言をしています。

【対　　象】　県内に事業所を有する事業者

【費　　用】　**無料**　専門家の訪問、調査、VOC測定に係る費用は無料です



VOC対策サポート事業の流れ

①大気環境課に相談・受付票の提出

事業者様から大気環境課に電話で相談
相談した結果、サポートを希望される場合には、受付票を提出

②対象事業所下見・VOC測定

大気環境課と環境科学国際センターが対象事業所に下見に伺い、
測定する場所などを確認、後日VOC濃度を測定

③アドバイス提供・取組結果の報告

測定結果に基づいて報告書を提供
事業者様から助言により行った取組結果を報告

講演の内容

VOC排出による大気への影響

VOC対策サポート事業の内容

事例紹介



埼玉県大気環境課
マスコットキャラクター
「アトモスベア」

例１　オフセット印刷

【依頼内容】
　現状のVOC濃度を数値的に把握し、どのような取組が効果的であるかの判断材料にしたい。

【測定結果】
　VOCの排出量を増加させている要因の１つとして、 VOC濃度測定の結果から、廃ウエス容器の溶剤が揮発していることが確認できた。

【助言内容】
・廃ウエス容器に布袋を使用しているため、VOCが外に漏れない気密性の高い容器に変えること。
・廃ウエス容器を蓋つきに変え、蓋を開けている時間を極力短くすること。

例２　プラスチック部品塗装

【依頼内容】
　現状のVOC濃度を数値的に把握し、排出削減に向けた取組の一助としたい。

【測定結果】
　VOCは空気より重いため、調合室内に滞留しており、人が通る度にそのVOCを巻き上げ、室内全体の濃度を高くしている疑いがある。

【助言内容】
・スプレーガンの吹付角度、パターン幅、エア圧力、被塗物との距離の最適化等、スプレー作業を改善すること。
・作業者のVOC使用に関する作業環境改善への取組意識を向上させること。

本講演のポイント

- VOCは、光化学スモッグやPM2.5の原因物質
- 規制と自主的取組を適切に組み合わせる
- 自主的取組をサポートする事業がある

ご清聴ありがとうございました。